

この写真家に聞きたい2021



五木村と人々を 見つめて

※1月実施予定で、一度告知しましたがコロナ禍で延期したため、開催日程を再設定いたしました。

熊本県五木村の川辺川ダム建設予定地に住んだ夫婦や村の姿を撮った写真集「土と生きる」など3部作から考える、これからの私たち

小林正明

写真家・元全日本写真連盟関西本部長

11月6日(土) 13:00~15:00

12:30開場

先着50名様

参加費無料

全日写連会員と
一般の方々も参加可

朝日新聞東京本社2階 読者ホール

東京都中央区築地5-3-2

第1部

13:00~14:00
16年間撮り続けた 出会いのチカラ

第2部

14:10~15:00
今、思いを伝える写真を撮るためには

お申込み・お問い合わせ

☎ 03-5540-7413

FAX 03-5565-6910

全日本写真連盟事務局

<https://www.photo-asahi.com/>

E-mail ajaps@photo-asahi.com

講演者プロフィール

小林正明 KOBAYASHI Masaaki



1961年、横浜市生まれ。
1986年、朝日新聞社入社。
日本写真家協会正会員。元朝日新聞写真記者。
現在は、朝日新聞東京本社ジャーナリスト学校ディレクター。
熊本県五木村、八代市の五家荘に通い、人々の暮らし、風習などの撮影を続ける。
ほかに浪曲師や曲師、歌舞伎役者などの撮影にも取り組んでいる。

写真展

- 2006年 五木の詩 ギャラリーだいせん(福岡市)
- 2007年 五木の詩 熊本県立美術館(熊本市)
- 2008年 五木の詩 人吉旅館(熊本県人吉市)
- 2014年 五木歳時記 キヤノンギャラリー梅田、福岡
五木歳時記 お菓子の香梅ドゥ・アート・スペース(熊本県人吉市)
- 2017年 日日是浪曲 キヤノンギャラリー銀座、大阪、名古屋
五木谷 秋の民俗 ヒストリアテラス五木谷(熊本県五木村)
- 2019年 土と生きる キヤノンギャラリー銀座、大阪

写真集

- 五木の詩(2006年、海鳥社)
- 五木歳時記(2014年、花乱社)
- 日日是浪曲 ― 曲師さくらの世界(2017年、Office K)
- 土と生きる〜川辺川ダム水没予定地に暮らし続けた夫婦〜(2019年、花乱社)

※小林さんの上記の写真集を販売しています。ご希望の方は、参加申し込みの際に、写真集の購入希望につきましても、お知らせ下さい。

ともに写真を読むひとときを 今だからこそ

全日写連事務局 池永牧子

効率重視、大量消費、インターネットの発展と情報過多に翻弄されるこの時代。

五木村のような農村や限界集落に残る伝承や文化、自然とともに生きる暮らしの知恵が、知らぬ間に消えゆくのは、あらがえない時代の流れなのかもしれない。

それでも、小林正明さんが写した一枚一枚の写真は、このまま、私たちは時代の傍観者で良いのだろうかと問いかけて、見る人たちに考えるきっかけを与えてくれます。そして、写したされた村の人々の営みは、時を超えて、心豊かな暮らしとは何かを、気づかせてくれます。

小林さんの写真は、時代を映すドキュメンタリー写真であるとともに、「伝えたい」という純粋な思いに突き動かされた一人のフォトグラファーの心の軌跡でもあるのです。

また、戦後の復興から高度経済成長、都市への人口流入、深刻化する少子高齢化——刻々と変化する現代を生きる私たちに、いま一度、一歩立ち止まって共に考えようと、静かに語りかけてくる力があります。

今、コロナ禍で想定外の大きな変化に揺れる私たち。

今、モノや情報があふれても、どこか満たされることが難しくなってしまった私たち。

スポットライトが当たって語られることは少ない、小さな村と人々の写真を、今もう一度じっくりと見つめながら、この先の時代をどう生きるか、一緒に考える時間を皆さまで共有したいと思っています。

※ 講演会は、新型コロナウイルスの感染状況によっては、やむをえず変更や中止となる可能性もございます。